

～いつまでも元気でいてほしいお父さんにメッセージを～ がん検診の大切さを伝える「父の日キャンペーン」を実施します！

東京都では、がん予防・がん検診受診率向上のため、6月15日の父の日にあわせ、がん検診の大切さを伝える「父の日キャンペーン」を実施します。いつまでも元気でいてほしいお父さんにメッセージカードを贈り、がん検診の大切さについて一緒に考えてみませんか。

キャンペーンの概要

日本人の2人に1人になると言われている、がん。40歳代から罹患率が増加し、早期発見・早期治療による5年後の生存率は90%以上※です。

がんの早期発見のため、東京都がん検診啓発キャラクター「モシカモくん」のイラストで、がん検診受診を呼びかけるメッセージカード及びアニメーション付きメッセージ画像を作成しました。ぜひご利用ください！

※出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2022」

メッセージカード（紙・名刺サイズ）

【デザイン A】



（表面）



（裏面）

【デザイン B】



（表面）



（裏面）

【デザイン C】 ※時期を問わず、だれにでもお渡しいただけるメッセージカードです。



（表面）



（裏面）



メッセージカード配布協力企業一覧（五十音順）

※配布上限枚数に達した場合、
期間中に終了することがあります。

企業名・施設名	期間	設置店舗・設置場所
株式会社アトレ	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	都内7店舗 恵比寿：本館3階 リモートインフォメーションカウンター 大井町：3階セントラルガーデン 大 森：ご協力いただけるショップ 亀 戸：1階インフォメーションカウンター 吉祥寺：ご協力いただけるショップ 竹 芝：ご協力いただけるショップ 目黒1：2階インフォメーションカウンター
株式会社小田急百貨店	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	都内2店舗 新宿店：M2階ゴルフウェア売場カウンター 町田店：4階紳士洋品・雑貨売場カウンター
株式会社京王百貨店	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	新宿店：1階正面案内所、地下案内所
株式会社シャトレゼ	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	都内4店舗 葛飾新宿店、梶野町店、紀尾井町店、ヨーク新宿富久店
渋谷スクランブルスクエア	6月2日（月曜日）から 6月13日（金曜日）まで	地下2階インフォメーションカウンター 2階インフォメーションカウンター
株式会社ハンズ	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	新宿店：2階ラッピングコーナー
株式会社不二家	6月1日（日曜日）から 6月15日（日曜日）まで	都内2店舗 OTOWA FUJIYA、数寄屋橋店



東京都庁舎内でも配布します！

期間 … 6月1日（日曜日）から15日（日曜日）まで
設置場所 … 東京都庁第一本庁舎1階総合案内コーナー

アニメーション付きメッセージ画像（ダウンロード用）

「モシカモくん」やテキストが動く、アニメーション付きのメッセージ画像です。東京都のホームページからダウンロードして、メールや SNS 等でお送りいただくことができます。



詳細はこちら



<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-tomin/5cancer.html>

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する事業です。

戦略 24 医療

「1. 都民の命と健康を守る医療サービスの充実」

2050東京戦略
～東京 もっとよくなる～



▲2050 東京戦略

【問合せ先】

保健医療局保健政策部健康推進課

千葉、高島

直通 03-5320-4351、4367

内線 32-850、865

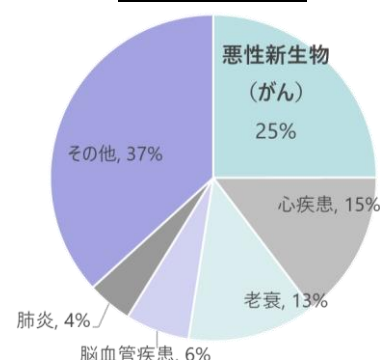
参考：がん検診について

■ がんは、誰でもなる可能性があります。

日本人の2人に1人が生涯のうちにがんになると言われており、誰でもがんになる可能性があります。また、令和5年にがんが原因で亡くなった都民は34,276人で、死因の約4分の1を占めます。

がんは初期の段階ではほとんど症状がないことが多く、知らないうちに進行していることもあります。自覚症状なしに進行するがんを早期に発見するための手段が、がん検診です。

都民の死亡別割合



出典：東京都保健医療局「人口動態統計（令和5年度版）」

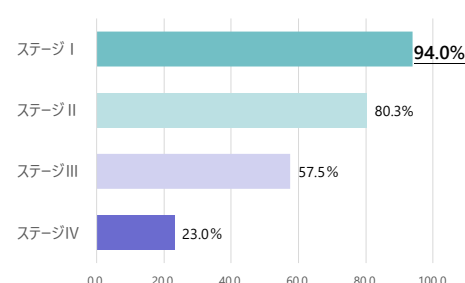
■ がん検診の定期的な受診が重要です。

がんの早期発見・早期治療による5年後の生存率は90%以上です。

一方、がん検診の受診を見送り、次の受診までの期間が空いてしまうと早い段階で発見できたはずのがんが進行した状態で見つかることにもなりかねません。

必ず定期的ながん検診を受診しましょう。

がんと診断されてから5年後の生存率（全がん）



出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2022」

■ がん検診の対象年齢や受診間隔について

がんによる死亡率の減少効果が科学的に証明されているがん検診として、国は指針で検診項目、対象者、受診間隔等を定めて、男性については以下のがん検診の受診を推奨しています。

がん検診の種類	検診項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか※ ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上、年1回の実施で差し支えない	50歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査（免疫便潜血検査2日法）	40歳以上	年1回
肺がん	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診※ ※50歳以上で喫煙指数（1日に吸うたばこの本数×喫煙年数）600以上の方		

がん検診の結果、「要精密検査」と判定された場合には、必ず精密検査を受けましょう。

■ がん検診の申込み先

区市町村が実施するがん検診の多くは、国が推奨する検診項目、対象者、受診間隔等により実施しています。

詳細は、お住まいの区市町村にお問い合わせください。

お勤めの方は職場でがん検診を実施している場合もありますので、職場の担当者までご確認ください。